

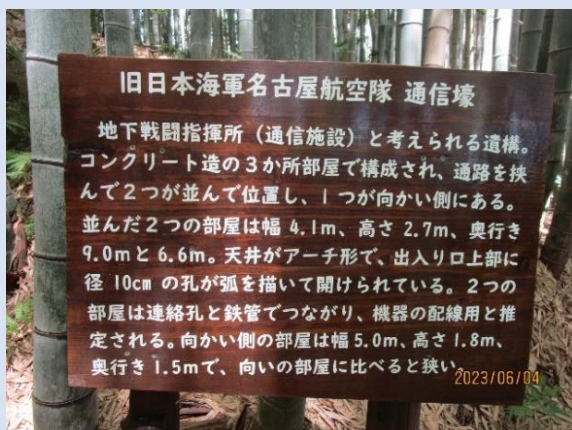
第 21 回平和リレー講座 参加レポート

6月4日に開催された平和リレー講座で伊保原飛行場跡(豊田市浄水町)を歩いた。浄水駅近くの西町区民会館の横で資料を見ながら基地の歴史の解説を聞く。

1937(昭和14)年に開設された航空機製造会社の飛行場は1941年に海軍が買収し、名古屋海軍航空隊の基地となった。当初は初歩の飛行訓練が目的だったが1945(昭和20)年には特攻訓練の基地となった。特攻隊(草薙隊)は4月～6月に鹿児島県国分基地に移動し、63人が沖縄の海に散った。

1972(昭和47)年に特攻隊・草薙隊之碑が建てられた。案内資料では若い特攻隊員の遺書を10通載せている。どれもが痛切な思いを伝える。

特攻隊慰霊碑から北へしばらく行くと、少年院敷地の竹藪内に通信壕(地下戦闘指揮所)跡がある。以前は入口までの通路はなかったが、歩きやすいように整備されていた。通信壕は大小3つの部屋があり、中に入ることができた。アーチ状の天井とコンクリートの壁の厚さが戦場だったことを語っている。





このあと、浄水場北の民家の庭にある
基地営門の門柱を見学した。小さなひび
割れはあるがコンクリートの堅固な台形
の門柱が今もしっかりと残っている。



2 時間半ほどで集合地点に戻り、ミニ交流会で感想交換会。戦争体験者が年々少なくな
る中で、戦争遺跡を巡り平和を語り継ぐ運動がいよいよ大切になっていることを実感した。

[トップページに戻る](#)